第4の生活習慣病:NASH にご用心

病気の発症や進展に,食事や運動を含めた生活習慣が大きく関わる疾患を生活 習慣病といいます.糖尿病,高血圧,高脂血症は代表的な生活習慣病です.

最近,第4の生活習慣病として NASH (Non-alcoholic steatohepatitis: 非アルコール性脂肪性肝炎)という病態が注目されています.

NASHとは?

肝臓に脂肪が蓄積する脂肪肝という病気をご存じの方も多いと思います.また,アルコールが肝臓に炎症(肝炎)を起こすことをご存じの方も多いと思います. NASH とは,アルコールをほとんど飲まないのに,肝臓に脂肪が蓄積し,炎症を起こす疾患です. 現在も,十分には病態が解明されていません. しかしなぜ,数年前からこの疾患が注目されているかというと,NASH を放置すると,肝硬変から,場合によっては肝臓癌の発生に繋がることが明らかになったからです.

通常の脂肪肝とは、血液検査・超音波・CT では区別できない!

種々の報告によると、肝臓に脂肪が蓄積しているだけの単純性脂肪肝と、炎症の加わった NASH とは、自覚症状・血液検査・画像検査(超音波・CT)だけでは鑑別することができない、とされています.

現在のところ下記に述べる肝生検という検査をしないと、NASH を診断することはできないのです.

超音波ガイド下経皮的肝生検とは?

専用の細い針を用いて、肝臓の組織そのものを採取し、それを顕微鏡で見て診断する検査です。検査は30分ほどで済み、局所麻酔をして行いますので痛みもほとんどありませんが、安全を期するために一泊二日の入院の上で行っています。

NASH についてお知りになりたい方は、内科各担当医とご相談下さい.

(文責:坂口)